

令和5年度 わかば保育園 「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の教育目標

『きらり きらきら わかばっ子 ～やさしい子 げんきな子 笑顔あふれる子～』
 相手意識・・・人やものを大切にして、感謝と思いやりの気持ちが持てる子
 本物・・・創植物の栽培や世話を通して親しみ、美しさや不思議さを感じ取り表現する子
 共感・・・子どもの心の内を察し、よさを捉え、子どもに寄り添える職員

2. 本年度の重点目標

子どもが人や自然、もの、できごとに意欲的に関わる暮らしの中で、豊かな感性（驚きや感動、自然のめぐとさや命の大切さ、創造性など）が育まれる保育 ～一人ひとりの子どものきらりと輝く姿を求めて～

3. 自己評価

A…十分達成されている B…達成されている C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	C
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	C
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・明るく活発、子どもや保護者に親しまれている職員。
- ・畑、土手、公園、子どもが育つにはとても良い環境。
職員が注意を払い、子ども達にストレスのないように育てていって欲しい。
- ・様々な活動を取り入れているが、職員が疲れ果ててしまうことのないように。
ゆとりがないと危険と隣り合わせになる。厳選して規模の縮小はしていった方が良いと思う。
- ・本物に触れての活動を大切にし、自然と触れ合っている活動内容が良い。
子どもたちをみる、先生たちの目が肥えていると感じる。
- ・主任児童委員・民生児童委員にもっと足を運んでもらって、地域の子どもたちと一緒に見守っていききたい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・地域・保護者の理解、協力のある園と感じた。次年度も連携して一層より良い園運営を推進したい。
- ・子どものキラリとする姿を求め、子どもの具体的な姿から学び保育することで、子どものものの見方や捉え方のすごさを捉えることを大切にしてきたが、職員の意識統一は非常に難しいと感じた。今年度は、茅野市の保育研究集会で発表をする機会をもらい、大変な中にもやりがいがあり、職員の姿勢も変わったように感じた。どのように職員意識統一をしていくのか、環境設定の仕方、活かし方共に、次年度への課題と感じる。